

障害者支援（自閉症者療育）施設 はぎの郷

令和 5 年度 事業報告

1. 利用者の推移

(1) 入・退所者推移

	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	R1.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1
男	29	29	29	28	28	28	28	28	28
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15
対前年度増減	0	0	0	-1	0	0	0	0	0
合計	44	44	44	43	43	43	43	43	43

(2) 性別・年齢別表(R6.3.31 現在)

	29	36	39	41	46	47	48	49	50	51	52	53	54	56	60	合計	平均
男	1	1	1	1	0	2	3	2	3	3	5	3	1	1	1	28	49.0
女	0	1	0	0	1	0	3	0	4	2	0	4	0	0	0	15	49.3
計	1	2	1	1	1	2	6	2	7	5	5	7	1	1	1	43	49.1

(3) 市町村別利用状況(R6.3.31 現在)

	金沢市	野々市市	内灘町	津幡町	七尾市	白山市	小松市	かほく市	合計
男	22	1	1	0	1	0	0	2	28
女	5	1	1	2	3	2	1	0	15
計	27	2	2	2	4	2	1	2	43

(4) 障害支援区分表

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
男	0	0	0	1	17	10
女	0	0	0	1	8	6
計	0	0	0	2	25	16

※支援区分パーセンテージ：区分 4(5%) 区分 5(59%) 区分 6(37%)

※重度支援：24 名

2. 職員構成

R6.3.31 現在

	現員数	定数比		現員数	定数比
施設長	1	0	事務長	1	0
サービス管理	1	0	事務員	1	0
支援課長	1	+3.2	管理栄養士	1	0
生活支援員	23.2				
看護師	1	0			
			合計	30.2	+3.2

3. 実施した主な行事

月	行 事	主 催	場 所
4月	新緑喫茶	はぎの郷	正面玄関
8月	まーぜませ展	つくしの会	シグナス
	夏まつり	はぎの郷	駐車場
9月	お彼岸おはぎづくり	はぎの郷	各生活棟
10月	ポン菓子講習会	はぎの郷	駐車場
	ハロウィンパーティ	はぎの郷	食堂
11月	音のざわざわ展	外部講師	トロル
12月	クリスマス忘年会	はぎの郷	各生活棟
1月	新年を楽しむ会	はぎの郷・	各生活棟
2月	節分	はぎの郷	各生活棟
	バレンタインデー	はぎの郷	駐車場
3月	ホワイトデー	はぎの郷	各生活棟
	お彼岸ぼたもちづくり	はぎの郷	各生活等

4. 職員研修及び関連研修

日付	分類	内 容
R5. 6. 15	研修	北陸地区知的障害者福祉協会 施設長会議
6. 30		施設感染症対応強化事業 看護協会研修・巡回指導
7. 4	Zoom	職場環境改善研修
7. 11 20	研修	強度行動障害支援者養成研修：基礎
7. 26	zoom	施設医療研修
8. 30	研修	石川県災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修
9. 5 6	研修	強度行動障害支援者養成研修：実践
9. 24	研修	重度障害者用意思伝達装置補装具装用訓練等支援事業 支援技術研修
10. 5	講演	地域で学ぶ人権講座「メンタルヘルスと人権」 (主催：地区社協くらし安心づくり萩野台)
10. 16	研修	中央保健所感染症対策研修会
10. 20	zoom	BCP オンライン研修
11. 30	zoom 交流会	全日本自閉症支援者協会 北信越ブロック みんなで語ろう
11. 30	研修	石川県災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修
12. 8	研修	石川県虐待防止・権利擁護研修
R6. 2. 17	講演	「手を離しても大丈夫～その日のために～」
3. 13	zoom 交流会	全日本自閉症支援者協会 北信越ブロック 仲間と学ぼう チーム支援とミーティングのコツ

職員の利用者への虐待防止、権利擁護について、月に一度虐待防止委員会会議を開いた。
都度、職員全体への虐待防止研修や新人職員に対しての新人研修を行った。

5. 受諾研修・ボランティア・見学等

(1) 受諾研修及び実習

施設実習	R5.6.5～16	金城大学短期大学部 2 年生	1 名
施設実習	9.4～15	金城大学社会福祉学部 2 年生	1 名
施設実習	10.2～13	石川県立保育専門学園 1 年生	1 名

(2) ボランティア ※来郷時は検温・消毒を徹底

来郷者	内容	備考
知楽市スタッフ	PC クラブ・インターネットカフェ	主に第 1・3 水曜日

(3) 見学

随時、見学希望・相談等に対しては、オンライン等も利用して受け入れてきた。

6. 支援全般について

(1) 利用者の高齢化

男女共に 50 歳を超える方が多数となり、今まで施設として経験した事のないご病気を患う方や、思わぬ転倒による怪我が増えてきた。そうした高齢自閉症者に対する支援への知識や技術、具体的な取り組みが、今後更に求められる。

そういった状況を、石川県リハビリテーションセンターの方に相談したところ、理学療法士と連携を図る協同事業の「リハビリテーション地域活動支援事業」として、利用者の方一人ひとりの身体機能を測定し、それを元にどのような運動が効果的か、どのような方が転倒の危険性が高いかなどを総合的に判定してもらった。

また、実際の活動を見学し、それぞれの活動に対するアドバイスをもらい、効果的な運動を取り入れた活動の充実を図った。

(2) 職員の支援体制

はぎの郷は、サービス管理責任者・生活支援員・看護師・管理栄養士等が常に連携を取り、24 時間 365 日を通して、夜間は夜勤職員 3 人体制で、日中は日勤の他に早出 2 人、遅番 3 人のローテーション勤務を行っている。そのため、職員は情報共有のシステムにて連携を取っている。

また、R5 年度は障害福祉分野の ICT 導入モデル事業の補助金を受け、クラウド型の記録システムを導入した。記録を即時・共有・活用・検証することで記録を利用者一人ひとりの支援に生かし、記録にかかる無駄を省き、支援の生産性の向上を目指している。

(3) 栄養

- ①管理栄養士を配置し、委託業者の管理・監督を行っている。
- ②6 ヶ月に一度のモニタリング会議に参加し、栄養ケアマネジメントを行った。
- ③利用者の健康状態・ADL 状態・障害特性により特別食が増えてきた。
 - ・栄養量 ・調理法 ・食事の形態（きざみ食、別盛り食） ・介助皿の使用

(4) 医務

- ①健康診断、健康管理と疾病予防
 - ◆ 健康診断（年 2 回／ 9 月・3 月実施）
 - ・尿検査 ・血液検査

- ・結核検査（間接撮影）
- ・身体測定・体重・身長・腹囲）
- ・血圧、脈伯測定
- ◆ 歯科検診（年1回）
- ◆ 定期的な歯科通院
- ◆ インフルエンザワクチン接種（10/17）
- ◆ 新型コロナワクチン
 - ・6回目接種（6/29）
 - ・7回目接種（11/8）

②【医療連携病院】

医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院

7. 防災・感染症対策

R6.4.1 からの障害福祉サービスにおける BCP の義務化に向け、つくしの会でも BCP を策定した。いずれも今後、必要に応じて研修や訓練、見直しを行っていく。

(1) 自然災害発生時における BCP

①毎月の防災訓練

利用者の避難行動をルーチン化し落ち着いて避難できるようになることを目的に、毎月様々な想定のもと、利用者・職員により消防署への通報訓練も含んだ防災訓練を行った。

日	想定時間	想定状況	備考
4月28日	日中想定	火災想定	
5月18日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り
6月23日	日中想定	大雨警報下における土砂災害	
7月27日	夜間想定	激甚震災想定	
8月25日	夜間想定	火災想定	
9月29日	日中想定	火災想定(トロール)	消防署への通報有り
10月27日	日中想定	火災想定	
11月22日	日中想定	激甚震災想定	
12月27日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り
2月20日	日中想定	火災想定(トロール)	消防署への通報有り
3月1日	日中想定	火災想定	
3月22日	夜間	火災想定	

- ・非常設備・防災備品の点検、防災食のローリングストック等は毎月実施してきた。
- ・非常通報装置の配線工事を行い、本館での放送が B 棟にも流れるようになった。

②R6 年度能登半島地震の被害状況

年末年始帰省中での出来事であり、出勤職員にてご家庭への安否確認の電話⇒連絡繋がらなかった方もおられ、1/2 に全員の無事を確認。

施設内設備に関しては施設全面において断水、それによる集中暖房の停止。帰省利用者に断水解消までの在宅をお願いする。能登方面の利用者、都合で在宅できない利用者のみ、来郷。断水のため、食事は防災食を交えた食事、入浴は中止、トイレは川の水をバケツで流すなどの対応。暖房も点かないため、石油ストーブ、電気カーペットで暖を取る。4 日目に断水解消、5 日目に暖房復旧。

B 棟の壁のゆがみ、水漏れに関しては修復。その他大きな被害なし。

関係者、利用者家族からの寄贈や支援を頂いた。

(2) 感染症対策における BCP

①定期的な感染症対策会議の開催、研修等にて知見を深め、全職員に発信。

6月には看護協会の巡回指導により、施設内の感染症対策の指導を受けた。

二酸化炭素濃度計測器を各棟に設置し、こまめな換気を徹底した。

②施設内の感染状況

令和5年度も新型コロナウイルスを始めとした感染症の状況を判断しながらの支援体制を取り、帰省・面会等は月に1回、日を指定して行った。「施設に感染を持ち込まない」ということを原則として、感染症対策委員会の主導にて感染予防に向けた取り組みを徹底し、昨年度から引き続き、来郷後の要注意期間を設けたり、全体での活動から各棟毎の生活・日中活動へと切り替えて、その中での利用者お一人おひとりに応じた支援のあり方を考えながら職員全体で取り組んできた。

新型コロナウイルス、インフルエンザを発症する利用者（職員）もいたが、迅速な対応、隔離体制、職員に関しては（濃厚接触者も含めて）出勤待機を取ることで、それぞれ大クラスターになることはなく、多くて3人という少人数の集団感染で、感染源に対して最小限に食い止めることができた。

8. 各部門別 活動報告

(1) QOL 向上担当部門

基本方針

ご家族と連携し、季節を感じながら、健康で心豊かな生活を提供する

重点目標：「新しい生活様式」を取り入れて安全・安心を保てるよう生活環境を見直し、一人ひとりの生活の基本部分に目を向けてQOLの向上をめざす

①日々の生活習慣の徹底

- ・手洗い消毒を徹底し、特に食事前・トイレ後・外出から戻った時に手洗いが抜けないようにした。
- ・職員のワンケアワン手洗いを徹底し、手指消毒液も常に携帯する。
- ・見通しを持って生活できるように予定表の作成と日課の掲示。
- ・館内の備品の管理は、すぐわかるよう整理・在庫把握し、5Sを徹底した。

②健康管理

- ・毎日の健康把握（1日2回の検温）
- ・健康状態の把握（月1回のほけんの日：体重・腹囲・血圧、脈拍、体温などを測定、記録する）
- ・歯磨きは、利用者が自分の歯を磨く技術向上はもちろんであるが、職員が利用者の歯を磨く技術の向上にも力を入れて行っている。
- ・利用者の高齢化に伴う、介護の知識や技術の習得。

③余暇支援

- ・感染症対策で各棟ごとに分かれての余暇イベントを実施した。
- ・季節が感じられる小行事と土日を中心とした余暇活動の提供。
- ・入浴後の喫茶や夜のおやつ提供とお菓子作り。
- ・各棟ごとに誕生会を設け、お祝いをしている。
- ・各生活棟での季節に合わせた室内装飾活動。

(2) 日中活動支援部門 ■療育活動■

基本方針

健やかな心身を維持し、四季を感じながら豊かな生活を送れるようにする

ウォーキング活動（宇ノ気公園、倶利伽羅方面など）、リトミック活動（各棟や屋外、トルル）、健康器具を使用した活動、外部講師によるヨガ教室、美術教室などを行っている。

※石川県リハビリテーションセンターによる「地域活動支援事業」について

- ・昇降チェアー機導入の指導、モニタリング、評価。
- ・利用者一人一人の基本情報シートの作成。体力測定（身体機能評価）を各棟別を実施。
- ・日中活動の視察。活動の評価と改善へむけた指導を受けた。

(3) 日中活動支援部門 ■作業活動■

基本方針

- ・「自分の仕事」という自覚と責任感を持って自主的に取り組める活動があること
- ・活動を通して、その文化に触れたり、人との交流が生まれていること
- ・活動により、報酬や他からの感謝、自身の健康など恩恵を受けていること

各棟活動中心で日中活動を行っている。

A棟：ボビン・アルミ缶、B棟：畑・自分作業、C棟：織物・園芸・環境整備 を中心に行なっている。各棟ごとの作業種目・内容を確認し、仲間が作業に集中できる環境調整を行っている。

9. 環境の整備・修繕等（主な工事）

- ・ 6/19～22 トロル体育館 エアコン工事
- ・ 8.22～25 トロル体育館 LED 電気工事
- ・ 12.13～15・12.27 トロル1階 LED 電気工事
- ・ 2.16 本館事務室の非常放送設備と B 棟の火災受信機の接続工事およびスピーカ一の接続工事
- ・ 3月より、福祉現場向けクラウド型記録システムを導入

令和5年度「ホームすぎな」事業報告

1. 利用者の状況 (R6.3.31 現在)

(1) 利用者の性別、年齢、市町村別状況

- ・現利用者は6名(定員7名)、全員男性、平均年齢:51.8歳
- ・出身市町:金沢市(4)、かほく市(1)、白山市(1)
- ・現住所:金沢(3)、津幡(3)

(2) 障害支援区分

- ・区分4(3名) ・区分5(3名)

(3) 日中活動

- ・6名全員、平日の日中はジョブスタジオノームに出勤して生産活動や受託作業等の作業に従事されている。

2. 職員配置

- ・管理者(1)・・・常勤(兼務)
- ・サービス管理責任者(1)・・・常勤(兼務)
- ・生活支援員(2)・・・非常勤専任2、常勤兼務1
- ・世話人(1)・・・常勤(専任)

3. 年間延べ利用人数

R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R元年度
2,012	2,096	2,082	2,107	1,782

※令和6年(2024)2月には6名の利用者のうち2名が新型コロナ陽性となったが、それ以上の拡大は無く収束した。感染対策のため、はぎの郷と同日程で、月1回の週末帰省を実施した。

4. 支援内容

- ・余暇の過ごし方について各利用者アンケートを実施し、企画に反映させた。また、土日に支援に入る職員を定着させたことにより、週末の活動が計画的に実施できるようになり皆さんのお楽しみとなっていた。
- ・クラウド型グループウェアにて、すぎな利用者の状況や支援内容についてはぎの郷・ノーム職員とも共有できるようになった。
- ・新型コロナ感染症が5類に移行後も、感染予防体制を継続した。令和6年2月に、2名が陽性者となり(他ノーム通所者2名)スーパーハウスに隔離したが、それ以上感染の広がりは無かった。仲間・職員による日常的な予防体制の徹底と、昨年度の換気システムの改善のお陰で食い止められたものと思われる。

- ・消防への通報を含む防災訓練は2回実施した

5. 課題

- (1)職員間の情報共有の強化、高齢化対策の強化を図るためにも、新たな記録システムへの移行を行った。令和6年2月に操作講習、3月に試行、令和6年度より本施行となったが、今後は運用の工夫や、より有効な活用を図って行きたい。
- (2)7月の豪雨、1月の震災と大きな自然災害が続き、各利用者の非常持ち出し袋やヘルメット等は各居室に据え置きとしたが、防災用品や備蓄品等の為、適した場所に防災倉庫の設置が必要。
- (3)夜間支援体制、医療との連携体制の整備が今後重要となってくる。

以上

令和5年度 ジョブスタジオ ノーム 事業報告

1. ご利用者の状況

(1)ご利用契約者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

(2)性別・年齢別 人数表(R6.3.31 現在)

年齢	10台	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～ 59	60～	平均年齢
男	0	2	4	1	0	1	1	7	1	1	41.5
女	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	28.5
計	0	3	6	0	0	1	3	5	1	0	39.3

(3)市町村別ご利用状況(R5.3.31 現在)

市町村	金沢市	白山市	内灘町	津幡町	羽咋市	かほく市	小矢部市	計
男	9	1	2	1	1	3	1	18
女	0	0	1	0	0	1	0	2
計	9	1	3	1	1	4	1	20

(4)利用者の障害支援区分(R5.3.31 現在)

	利用者数	障害支援区分判定						未判定
		1	2	3	4	5	6	
男	18			9	2	2	3	2
女	2				1	1		0
計	20			9	3	3	3	2

(5)新型コロナウイルスの影響

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者数	408	402	423	413	383	426	432	413	421	350	326	407
開所日数	22	22	24	23	21	23	23	22	23	19	18	22

※新型コロナウイルスの影響で 8/25・28 2/16-17・19 震災影響で 1/4-6 の計 8 日を臨時休業とした。
 ※年間を通した平均利用者数は 18.19 名となった。

2. 職員構成と異動

R6.3.31 現在

管理者	1	常勤
サービス管理責任者	1	常勤
目標工賃達成指導員	1	常勤
職業指導員	1	常勤
生活支援員	5 (3.52)	常勤/非常勤

※R6.4.1 生活支援員 1名(5.5h) 採用

3. 実施した主な行事

(1) ノーム全般（施設行事・交流）

日	内 容	会場
4/2	自閉症啓発デー ブルーライトアップイベント	オンライン
4/14	マジシャンルパンによるマジックショー	はぎの郷
4/25	八重桜ウォーク（倶利伽羅峠まで往復 16km）	倶利伽羅公園
	（保護者会）おやじの会 中止	
6/11	津幡町美化大作戦 参加	萩野台公民館
	梅干し作り（保護者会活動に協力）中止	
8/11	萩坂地区合同盆踊り大会 職員のみスタッフ参加	萩野台公民館
	流しそうめん大会 中止	
7/7	七夕カレー大会	ノーム
8/28	ぎょ！ぎょ！！ぎょ！！ノーム縁日	トルロ周辺
8/30	秋月ランチ	加賀料理秋月
10/25	たこ焼きパーティー	トルロ
11/22	プラネタリウム	銀河の里キゴ山
	はぎの郷まつり 中止	
12/25	ノーム年末大反省会&1年を振り返ろう会	キッチンカフェ PAPPY
2/2	ノーム節分	トルロ
2/9	みそ仕込み教室	トルロ

(2) 就労支援関連

4/1	「加賀料理 秋月」様 福祉事業所販売会に出品	加賀料理 秋月
7/7	P F U / P r o D e S 様 お届け販売会	本社/ProDeS 売店
9/3	福祉の集い 出店	松ヶ枝福祉館
9/24	ふれあいフェスティバル 出店	産業展示館
10/1	ハートフルマルシェ 出店	アルプラザ津幡
10/17	金沢手を繋ぐ親の会バザー 発注依頼	カタログ販売
10/6	西金沢駅前で開催されたガレージマルシェに出品	西金沢駅前
10/19	県立工業高校文化祭 注文販売 出品	県工
10/27	P F U / P r o D e S 様 お届け販売会	本社/ProDeS 売店
10/19・11/25	金沢スポーツ事業団様 注文販売	
10/23	HAB 取材 カエルデザイン依頼商品取材	
11/12	花園小 PTA 委託販売	花園小
12/21	P F U / P r o D e S 様 クリスマスお届け販売会	本社/ProDeS 売店
12/21	F J I T 労働組合とのクリスマス販売会 今年度も対面販売中止、製品の予約販売のみ	F J I T 労組
<p>●津幡町役場、津幡町社協、ユニバール(株)のご協力にて季節の企画（母の日、父の日、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン、ホワイトデー）においてチラシ回覧による注文販売を実施</p> <p>●本年は新型コロナウイルス感染症 5 類移行に伴い、各種イベントが再開され、可能なイベントのみ参加を試みた。</p>		

(3) 生活・余暇支援関連

4/6	お花見ランチ	トルロ駐車場
5/25	歯科検診	はぎの郷
⑥6/29⑦11/8	新型コロナワクチン予防接種（⑥回目） はぎ食堂⑥⑦	全利用者⑥⑦
7/5	体力測定（石川県リハビリテーションセンター共催）	トルロ
8/5	ぎやらりん 作品展見学	シグナス

7/21	味噌開き	ノーム
9/2	トルシター	トル
9/5	健康診断	はぎの郷
10/17・18	全国障害者作品展見学 アートトラフィック見学	音楽堂
10/21	音遊び 参加	トル
11/28・30	夢眠片付け	
10/17	インフルエンザ予防接種	はぎの郷
2/2	節分の集い in トル	トル
3/5	健康診断 (はぎ・すぎな)	本館ホール

※労働の報酬を実感できるよう、ご家族のご協力を得て毎月の給料日を一部現金支給にし、貯金箱に積み立てを行い、「チャレンジデー」「振り返り会」等の行事の費用に充てている。(H23年度より継続)

4. 防災訓練

・秋と春の火災予防週間に合わせ、火災想定避難訓練を2回、実施した。同時に消防署への通報訓練も合わせて行い、防災機器の確認も行った。消火器の更新、誘導灯のランプ更新も行った。

5. 職員研修及び福利厚生

日付	分類	内容	備考
10～12月	厚生	職員健康診断	
7/11、7/19、7/20	研修	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	講師として
9/5、9/6	研修	強度行動障害支援者養成研修(実践)	講師として

※オンラインの研修プログラムの利用

※研修大会オンラインの共有

6. 受諾研修・実習・ボランティア・見学等

(ア) 受諾研修及び実習 ※今年度該当なし

受入日(期間)	分類	所属	人数	延べ日数

(イ) ボランティア

来郷者	内容	備考
NPO 法人 ケーネット知楽市	インターネットカフェ PC再生	主に第1・3水曜日 随時
石川工業高等専門学校	インターネットカフェ/PC再生	随時

(ウ) 職員の委嘱業務・地域貢献等

津幡町共同募金会 審査委員	津幡町共同募金会
津幡町障害者地域自立支援協議会 委員	津幡町
強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践) 企画委員	石川県
障害のある方のアート活動支援研究会 企画委員	石川県
自閉症啓発デー 関連行事	石川県自閉症協会

(エ) 見学者ご来訪

月日	見学者	備考	人数
	就職希望学生見学会	ご希望日にその都度	
11/23	特別支援学校生徒・父母		3

7. 整備・修繕工事等

館内 LED 工事取付(8/28-31・10/12)

事務室エアコン交換(12/5)

8. 助成、寄贈

- ・認定 NPO 法人イーパーツより、高輝度プロジェクター寄贈

9. 今年度の取り組みの振り返りと工賃支給実績

(1) 支援全般について

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのイベント出店や外出行事等は行えなかったが、感染対策を考慮しながら新たな販売方法や行事を模索してきた。

【今年度の取り組み】

●工賃向上や社会参加につながる各種イベントへの出店・販路の拡大

令和5年度も、コロナ禍の影響は続き、感染等により営業できない日も生じたが、様々なイベントが復活し、また企業や団体からのご注文、県のショッピングサイトによる販売にて売り上げを伸ばすことが出来た。同様に請負作業も売り上げが伸びた他、アート関連の売り上げも増加したため、日常の作業の活動の中で、敢えて時間を取ってアート作品の製作を行う時間も設けることが増えた。

工賃支払総額・月額平均工賃はわずかではあるが向上させることが出来た。

●感染症への対策と仲間への生活支援

引き続き新型コロナウイルス感染症に対して、施設に持ち込まないための対策を講じてきた。それにはご家族の皆様の日々のご協力が重要であった。残念ながら8月と2月に感染拡大を防ぐため臨時休業日を設けた。

また1月1日の能登半島地震の影響で2日間、臨時休業としたが、感染症対策や自然災害のBCPの重要性を痛感する出来事であった。

今年度も大きく分けて、1日を通して作業労働に従事される方(5時間)と、午前運動(2時間)・午後作業労働(3時間)という日課で過ごされる方との2グループに分けた運営を行ってきた。

【就労支援事業収入と工賃支給】

	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	30年度	29年度
① 就労支援事業収入	5,275,061	4,926,319	4,779,709	4,976,145	5,405,745	5,827,023	5,353,169
② 工賃支払総額	3,102,049	2,697,474	2,580,071	2,478,634	3,032,377	3,213,023	2,916,025
③ 平均工賃月額	14,049	11,527	11,416	10,871	12,959	13,192	12,356

(2) 各作業種目別実績

作業種目	具体的作業名	作業の内容・特徴	年間売上げ額 (売上全体に対する割合)	作業における課題
飲食料品	食品加工 (焼き菓子作り)	洋菓子(クッキー)の製造 販売会やショップ販売の実施 企画セットやギフトセットの販売 企業等への注文販売	2,934,626 円 (59.6) %	宅配用セット商品の開発
日用雑貨・小物・木工(工芸)	ウェス加工 名刺・年賀状印刷 ポストカード メモ帳・木工 アート作品	・ノーム・はぎの郷利用者の絵画を使用した自主製品作り ・昨年からの木工作業等、季節製品等は本年も継続。	566,091 円 (11.5) %	イベント減少により販売は伸びていないが、「かける」の活動や百文祭の事業により利用者のアートが採用される機会が増えており、収入にも繋がっている。
下請け・内職	カーテンフック 組み立て作業 菓子ラッピング作業	・誰でも参加できる軽作業として、位置付けている。 ・常に材料の供給があるため安定して同一の作業活動を提供できる	953,896 円 (19.4) %	フック: 分かりやすい作業のため、ノームの活動の中心となっている。 ラッピング: 作業量が増えているが職員による検品作業も増えている
その他	PC再生	・利用者の社会参加・社会貢献の機会を広げる作業として位置付け ・多くのNPOやボランティアとの協働作業で実施している	176,906 円 (3.6) %	企業からの不用PCの提供が減少しており、再生台数も減少している
清掃業	清掃業務 ・環境整備	・業務訓練の一環として、同法人施設の清掃を部分的に実施している。 ・マニュアルに沿った業務を遂行できるよう支援している。	294,800 円 (5.9) %	作業マニュアルが形骸化し、作業者の自己流になりかけている

10. 自閉症啓発への取り組み

◎世界自閉症啓発デー Light It Up Blue2023：石川門ブルーライトアップへの協力

今年度もコロナ禍のため集合イベントは中止となったが、ZOOMによる点灯式を行い、後日その様子をYouTubeにて配信し、一般市民への自閉症啓発活動を行った。ブルーライトアップ点灯箇所が石川門・鼓門・金沢港の他、加賀市、輪島市、かほく市等の取組みも紹介することが出来た。

◎強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）

県の研修の企画委員として参加し、県下全ての障害福祉事業所職員を対象に、強度行動障害に至る可能性のある自閉症児者への支援についての研修を実施し、自閉症者への支援に対する理解の浸透と、障害者虐待防止・権利擁護に繋がることを目指している。（継続中）

以上

発達障害者支援センターパース 令和5年度事業報告

1. センターの状況

(1) 職員配置

7名（内、常勤4名、非常勤3名 *10月より1名増で3名となった）

(2) 実施場所

金沢市福久東1-56 オフィスオーセド2階建ての2階の2室を賃借

(3) 委託料

前年度と同額

2. センター事業の実施状況（表1）

			R5年度	前年度
(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援	来所、訪問、電話、Eメール 原則、日曜・年末年始を除く 9:00～17:30 Eメールは24時間受付、緊急時は携帯電話等で時間外にも対応	実支援人数	423人	531人
		延支援件数	1717件	2087件
	心理学的判定	実判定人数	18人	15人
	情報共有等（調整会議）		55件	27件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		722件	1557件
(2) 発達障害児者に対する就労支援	来所、訪問、電話、Eメール 原則、日曜・年末年始を除く 9:00～17:30 Eメールは24時間受付	実支援人数	214人	234人
		延支援件数	2609件	2937件
	情報共有等（調整会議）		159件	160件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		775件	1339件
(3) 地域住民等に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 世界自閉症啓発デーについての広報活動 ペアレントメンターについての周知・理解 NPO法人への発達障害者支援に関する助言、説明会 ピアサポーターへの説明会 	実施回数	2回	9回
(4) 関係施設・関係機関等に対する普及啓発及び研修	センター主催または共催で企画した研修 ・ペアレンティング研修の主催、ペアレントメンター相談会の共催 他	実施回数	22回	28回
		延参加人数	72人	271人
	外部から講師依頼を受けた研修（講師派遣）	実施回数	52回	30回
		延参加人数	878人	902人
	教育関係者との合同研修会	実施回数	24回	17回
		延参加人数	371人	174人
(5) 関係施設・関係機関等の連携	連絡協議会の開催状況 ・世界自閉症啓発デー in 石川企画委員会 他	実施回数	18回	20回
	障害者総合福祉法第89条の協議会等への参加状況 ・地域障害者自立支援協議会（津幡町・かほく市・白山市） ・市町発達障害者担当課長会議 ・石川県発達障害者支援体制推進会議等および石川県特別支援教育体制整備推進事業連絡協議会	参加回数	13回	8回
	その他の協議会への参加状況 ・強度行動障害支援者養成研修企画委員会	参加回数	20回	12回

3. 事業の実施内容（表2）

(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援

当事者・家族や関係機関からのニーズに対し、来所・訪問・電話・テレビ会議システム・Eメールなどの方法で相談を実施した。必要に応じて心理検査等のアセスメントや支援計画の作成を実施した。関係機関のコンサルテーションを実施した。

主な関係機関…保育所、小・中・高校、特別支援学校、大学、教育委員会、児童相談所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、医療機関、保健所、行政機関 など

(2) 発達障害児者に対する就労支援

当事者・家族や関係機関からの就労に関する相談に対し、来所・訪問・電話・オンライン会議システム・Eメールなどの方法で実施した。県青年期社会適応力向上事業としてNPO法人ケーネット知楽市と協働でのITサロンや安宅数楽塾と協働でのボードゲーム（能登地区および加賀地区）の開催に協力した。他、就労関係機関のコンサルテーションを実施した。

主な関係機関…医療機関、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、公共職業安定所、企業、司法関係機関、行政機関 など

(3) 地域住民等に対する普及啓発

世界自閉症啓発デーin石川に関する企画・運営を、石川県自閉症協会やその他の関係者とともに実施した（4月2日はコロナ感染症予防のため、県内3か所からの動画配信をした）。

(4) 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

強度行動障害支援者養成研修の企画委員として基礎研修と実践研修の実施に協力した。

ホームページ及びブログの更新を随時実施した。

(5) 関係施設及び関係機関等の連携

発達障害者支援に関する様々な会議の企画・運営に協力、参加した。県及び市町の障害者自立支援協議会及び運営会議に参加した。

4. 家族の集い事業

(1) ペアレントメンター

石川県内の受講希望者を主体としたペアレントメンター養成講座ベーシックコースを実施した。インストラクターは金沢大学の教授2名、その他石川県内で活動している臨床心理士や相談支援専門員らに依頼し、質の高い研修を実施することができた。

石川県自閉症協会げんきの会をはじめとする親の会主催の相談会、パースでの個別相談、対面でのメンター交流会などに関して、延べ39名のペアレントメンター派遣をコーディネートした。

(2) ペアレンティング研修

子どもの発達・発育の偏りによる親の育児不安に関して、身近な地域で専門家の指導を受けられる環境整備の一環。児童発達支援センター、放課後等児童デイサービスの職員を対象とし、子どもへの関わり方について親・養育者等を指導できる人材育成を行う。今年度は〈応用編〉として、前年度の〈基礎編〉を修了した14名にオンライン2回・対面2回、計4回実施した。また、前年度までの研修修了者へのフォローアップ研修を2回、延べ12人の参加で実施した。

(3) カサンドラ症候群の女性のためのグループワーク

昨年度好評であったTOCfEのミニ講座と当事者同士の交流会を、講師を招いて4回実施した。またペアレントメンターによる、インシデントプロセス法によるグループワークを1回実施した。合計5回の実施（R4年度は4回）

5. 発達障害者地域支援マネジャー事業

県内各市町の発達障害児者の相談体制作りや困難事例への支援ができるよう、要請に応じて県内市町に延べ98回出向いた。（前年度は111回）

6. その他

令和6年度能登半島地震における対応として、現地訪問と電話・メール・来所の方法で延べ65件の相談支援を実施した。